

今月のキラキラさん

柏崎総合医療センター 看護師

佐藤 絵梨(サトウ エリ)

2015年入職、柏崎総合医療センター配属。病棟勤務を経て5年ほど前に手術室看護師となる。2022年から特定行為研修を受け、現在研修中。

特定看護師

特定行為研修を受講・修了することで、一部の行為に限り、医師の指示を待たずに診療補助ができる看護師のこと。



手術室看護師として働きながら、さらなるキャリアアップを目指して特定行為研修を受ける佐佐藤看護師。その胸中や今後の目標は？

— 手術室看護師の業務はどんなことがありますか？

主に2つあります。1つは医師にメスなどの道具を渡す器械出し、もう1つは麻酔の様子を見たり必要な機械を準備したりする「外回り看護師」と呼ばれる業務があります。

— 特定行為研修を受けようと思ったきっかけは？

病棟勤務をしていた頃の師長が、救急分野の認定看護師でした。師長でありながら現場での指導も多く、憧れの存在でした。私も何か資格を取りたいと思い、手術室看護師として「医師がどのように判断してその医療行為をするのか」を深く学びたいと考え、研修を受けることにしました。今は術中麻酔管理に関する研修を受けています。

— 研修を受けて良かったことは？

兵庫県での研修があった際、関西や九州からも看護師が参加して

いました。新しい知識を学べたことはもちろん、他県の看護師と一緒に勉強する機会はとても貴重で、多くの刺激をもらいました。今は特定行為研修のために通常業務を融通してもらうこともありま。研修を終えたら患者さんや病院のために、学んだことをしっかりと生かしたいと思います。

— 今後の目標を聞かせてください。

特定行為研修後は、たとえば腕からカテーテルを挿入するピック挿入術などもできるようになります。でも「自分は看護師」ということは決して忘れないようにしたいんです。患者さんにとって誰よりも身近で、技術ありきではなく患者さんを最優先に考える看護師の仕事をまっとうしたいと思います。ゆくゆくは認定看護師にも挑戦し、病棟と手術室のより良い連携に貢献したいと思います。